



2024年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久
(TEL. 023-631-2211)

**繰延税金資産の取り崩し並びに2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想
と実績の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2025年2月期中間連結会計期間において下記のとおり繰延税金資産の一部の取り崩しを行うとともに、2024年4月15日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2025年2月期の第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。これを受け、同じく2025年2月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は、現在の事業環境及び今後の業績動向を勘案し、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2025年2月期中間連結会計期間において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額741百万円を計上することといたしました。

2. 2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績の差異

第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異(2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 51,600	百万円 300	百万円 450	百万円 120	円 銭 11.13
今回発表実績(B)	50,958	△682	△275	△1,056	△97.99
増減額(B-A)	△642	△982	△725	△1,176	
増減率(%)	△1.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年2月期第2四半期)	50,650	532	570	1,024	95.13

3. 2025年2月期通期連結業績予想値の修正

通期連結業績予想値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 102,700	百万円 450	百万円 650	百万円 120	円 銭 11.13
今回修正予想 (B)	101,500	△800	△500	△1,700	△157.80
増減額 (B-A)	△1,200	△1,250	△1,150	△1,820	
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	101,891	625	677	451	41.92

4. 実績との差異および修正の理由

2025年2月期の中間期における実績との差異および通期連結業績予想修正の要因については、主にスーパーマーケット事業によるものであります。

売上高につきましては、2024年3月より自社ポイントカードサービスを終了し、「ヤマザワ Edy-楽天ポイントカード」への切り替えを行い販促施策等の強化を図った結果、新規顧客の取り込みにより客数は伸長したものの、客単価・買上点数が伸び悩んだ結果、当初の予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高の未達を受けて販売費および一般管理費の削減に努めたものの、人件費の単価やエネルギー価格等の上昇が予想を上回る影響であったことに加え、原材料高騰による価格転嫁がスムーズに行えなかったことでの荒利益高の不足もあり、営業利益および経常利益ともに当初の予想を下回る結果となりました。

また、上記「1. 繰延税金資産の取り崩しについて」のとおり、今回法人税等調整額741百万円を計上することにより、親会社株主に帰属する純利益が当初の予想を下回る結果となりました。

2025年2月期の通期業績につきましては、当事業年度を最終年度とする第3次中期経営計画に基づき、「顧客の創造」、「新たな生産性の獲得」、「収益構造改革」、「風土改革」、「サステナビリティ」、「人材の育成」等の取り組み、施策を進めてまいります。引き続き厳しい状況が続くと想定されるため、通期の業績予想につきましても修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上